「火事で一番怖いのは煙です！」

～煙中体験～

７月１３日（木）、１年生と３年生の子どもたちの煙中体験が行われました。
甘い香りの煙がもくもくと立ち込めるテントの横で、火災時における逃げ方の大切なポイントをわかりやすく説明してくださいました。

「1 年生は二人ずつ入ってもらったけど、3 年生は一人ずつ！」と言われた途端一斉に「え～？！」という声。「怖い人は二人ずつ入りましょう！」と言ってもらえると「先生怖い！」とざわざわし始めました。緊張した面持ちで一人ずつや二人ずつ入る子どもたちでしたが、出て来た瞬間には安堵の表情と一緒に咳き込む子がたくさんいました。

今回は体験だからということで甘い香りのつけてあった煙に、子どもたちは『プリンの匂い』『ソフトクリームの匂い』『メロンラムネの粉の匂い』『歯磨き粉の味』『バナナの匂い』と楽しそうに様々な感想を口にしていました。

また、「バナナ色で全然見えなかった！」「中すごいやばかった！」「無事生還を果たした！」と煙の中を歩く難しさを実感する様子も見られました。

大切なことを体感しながら学ぶことのできた煙中体験。お家でもこの機会に火事の時の逃げ方やお約束などを今一度確認してみると良いですね。

『お・か・し・も』
(押さない・かけない・喋らない・戻らない)
火事の時に一番大切なのは？
正解は・・・
『も』戻らない！
どんなに大切なものがあっても
絶対に戻らないようにしましょう！

タオルやハンカチ（濡れているとなお良い）を口に当て、姿勢を低くして、片手で壁を触りながら逃げましょう。